



ごあいさつ

本日は、私たち南アルプス桃源ウィンドアンサンブル第3回定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

私たちは、南アルプス市を活動の拠点とし、地域に根ざした吹奏樂團を目標に日々活動を行っております。この演奏会も、活動を少しでも多くの方々に知って頂きたい、開催の運びとなりました。

本日の開催につきましては、団員の努力は勿論ですが、それを支えて下さる家族の皆さんのご理解とご協力、また桃源文化振興協会の方々、更には演奏における賛助出演の方々から支えられての演奏会であることは言うに及びません。本当に感謝の気持ちで一杯です。

アンサンブルという言葉は、フランス語で重奏、合奏、また合奏や演技の調和の具合、と訳され、ウィンドは風、と訳されますから、ウィンドアンサンブルとは“風の調和”となります。ウィンドアンサンブル（吹奏楽）と言う合奏形態は、多くの管楽器が主体となって息を吹き込み音を作り、それを調和させ音楽へと発展させる…。

心地よい風が、本日ご来場頂いた皆様方に届きますよう、団員一同感謝の気持ちを込め、精一杯の演奏をいたします。まだまだ未熟な私達ですが、どうぞ最後までお付き合いくださいようお願い申し上げます。

南アルプス桃源ウィンドアンサンブル

団長 大八木俊男



交響詩「中央アジアの草原にて」

…見渡す限り広々と広がる中央アジアの平原から平和なロシア民謡が聞こえてくる。遠くから馬とらくだの足音に混じって、東洋風な旋律が響き渡る。そしてアジアの隊商がロシア兵に護衛されながら果てしない砂漠の道を、安全に進む。征服者と征服されたものたちの歌…ロシアの歌とアジアの旋律が溶け合って、不思議なハーモニーを作る。そのこだまは次第に平原の空へ消えていく…

この曲は「交響詩」とありますが、詩的というよりは絵画的な作品です。しかもその絵は西欧絵画、油絵というよりは、東洋の水墨画の世界だといわれています。

遠くから来る行列が目の前を通り、再び遥か遠方へと通り過ぎる様子をお楽しみ下さい。